



ULTRA-VYBE presents

# JAZZ 最前線

2026.05.06 / 2026.05.20 ON SALE





01. Capricorn / George Duke 02. Come Into My Life / Alphonse Mouzon 03. Hal-Lucy-'n'-O'-One Step / Piano Conclave  
04. Poobii / Alphonse Mouzon 05. Muko / Monty Alexander 06. Someday / George Duke 07. Freeway / Ernest Ranglin  
08. Get Out My Life Woman / Dee Dee, Barry & The Movements 09. Feels So Good / George Duke 10. Malibu / George Duke  
11. Soulful Strut / Horst Jankowski 12. Mr. Clean / Peter Herbolzheimer Rhythm Combination & Brass 13. Love and Happiness / Monty Alexander  
14. Do I Have To / Alphonse Mouzon 15. Big Schlepp / Dave Pike Set 16. Wild Chick / Peter Herbolzheimer Rhythm Combination & Brass  
17. Knock Out / Dieter Reith 18. Scratches / Charly Antolini 19. No, No, No / Dieter Reith 20. Work Song / Knut Kiesewetter

CD

CDSOL-3603/MURO/KING OF DIGGIN' "DIGGIN' MPS"/¥2,750



今回は、ドイツのMPSレーベルのMIX-CDということで、昔から大好きなジョージ・デュークやアルフォンゾ・ムーンらのJAZZ FUNKを中心に、Grooveを強く感じたり、ベースラインが好きなナンバーを中心にセレクトしてみました。ジャケットのオマージュも気づいてもらえたら嬉しいです。



# DJ Mitsu The Beats MPS Reimagined



01. Sweet Bite / George Duke 02. El Gento / Joe Pass 03. All the Things You Are / The Oscar Peterson Trio 04. Love and Happiness / Monty Alexander  
05. Feel Like Making Love / Ernest Ranglin 06. Associations / Jasper Van't Hof 07. Lamento / Nelson Riddle 08. Claudia / Francy Boland  
09. Dance of the Magic Eggs / Jiggs Whigham 10. Wild Chick / Peter Herbolzheimer 11. A Day in Vienna / Dexter Gordon  
12. Twilight World / Marian McPartland 13. Blue Lilly / The Roland Hanna Trio 14. Spring Can Really Hang You up the Most / Nathan Davis  
15. Emily / The Singers Unlimited

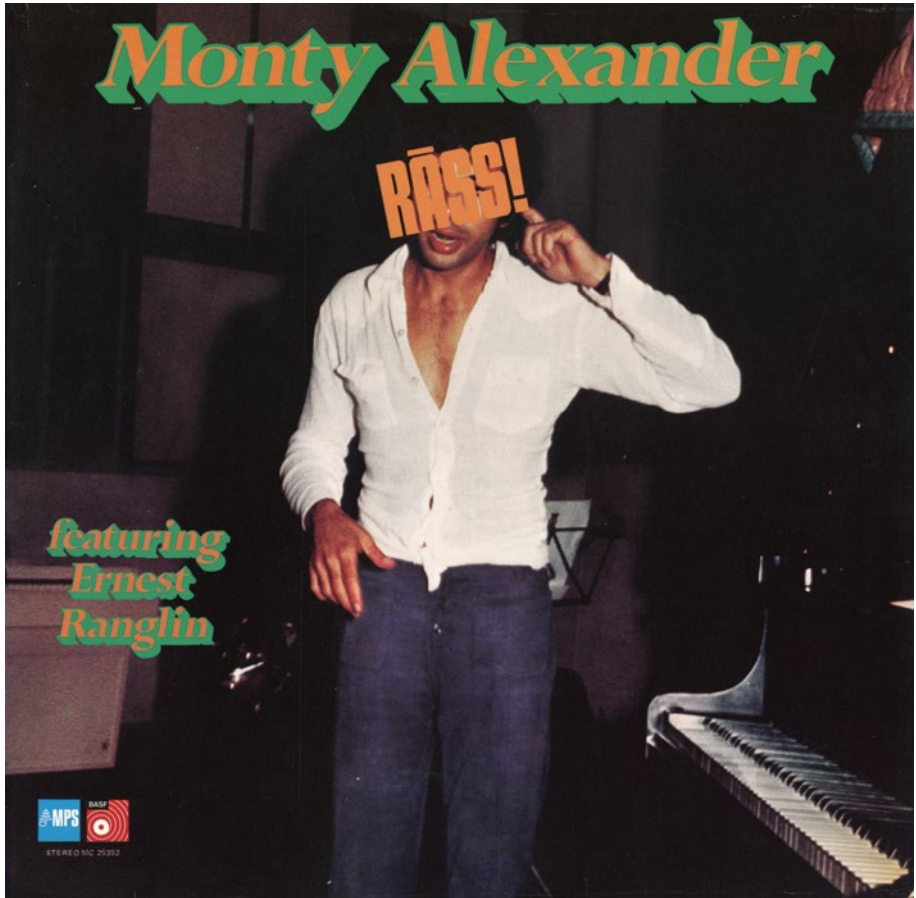
CD

CDSOL-3604 / DJ Mitsu The Beats / MPS Reimagined / ¥2,750



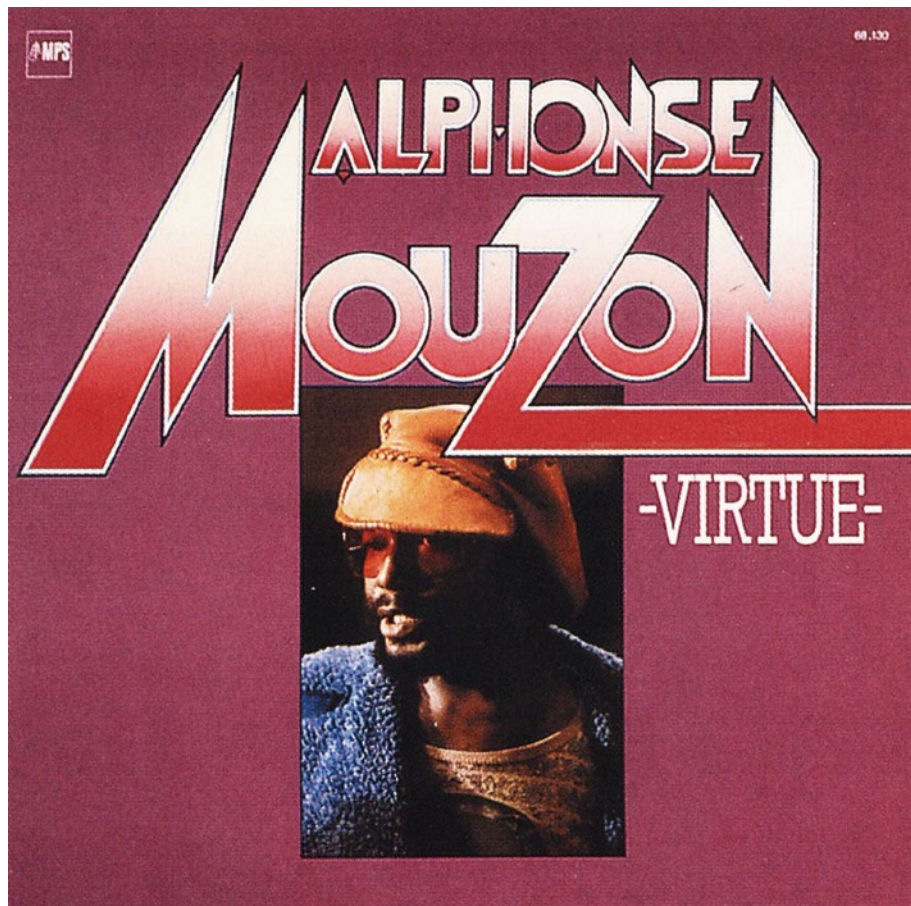
レコードを掘り始めた1990年代から、MPSは自分にとって特別な存在です。今回セレクトに関わられて本当に光栄です。ロゴがあるだけで聴いてきました。『Rass!』は高額でも手に入れた思い出の一枚。MPSがHIPHOPに与えた影響は計り知れません。

DJ Mitsu The Beats



LP・CD

CDSOL-3593 / モンティ・アレキサンダー / ラス! / ¥2,200



CD

CDSOL-3594 / アルフォンス・ムズーン / バーチャー / ¥2,200



CD

CDSOL-3595 / ディー・ディー・バリー&ザ・ムーヴメント / ソウル・アワー / ¥2,200

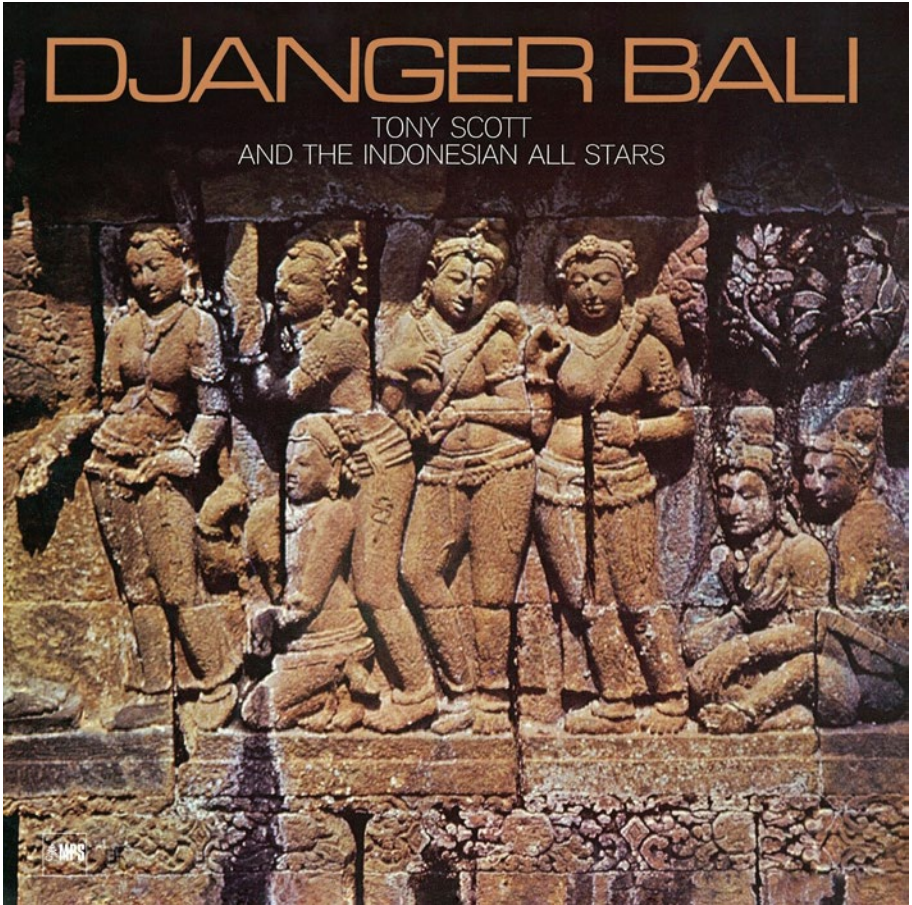


CD

CDSOL-3596 / スモーク / エプリング / ¥2,200

# DJANGER BALI

TONY SCOTT  
AND THE INDONESIAN ALL STARS



CD

CDSOL-3597 / トニー・スコット&ザ・インドネシアン・オールスターズ / ジャンガー・バリ / ¥2,200

# NATHAN DAVIS HAPPY GIRL



STEREO

CD

CDSOL-3598 / ネイサン・デイヴィス / ハッピー・ガール / ¥2,200



CD

CDSOL-3599 / ネイサン・デイヴィス / ヒップ・ウォーク / ¥2,200



CD

CDSOL-3600 / エルヴィン・ジョーンズ・ジャズ・マシーン / リメンブランス / ¥2,200

# New Call from France



**THE JEF GILSON NONET**  
feat. JEAN LOUIS CHAUTEMPS



CD

CDSOL-3601 / ジェフ・ギルソン / ニュー・コール・フロム・フランス / ¥2,200

**GUNTER HAMPEL  
QUINTET  
HEARTPLANTS**



**SABA STEREO**

CD

CDSOL-3602 / ギュンター・ハンベル / ハートプランツ / ¥2,200

# JAZZ最前線

## Season 1 New Discovery 邂逅 ～クラブカルチャーによるJAZZの脱構築～

ヒップホップは過去のあらゆるジャンルの大衆音楽をリスペクトすると同時に「自由」にまたは「勝手に」再利用して新たな音楽を創生する音楽でありそして文化である。  
つまり破壊ではなく再生であり発見であり創造である。  
すべてはここから始まる。

これは1960年代におけるフランスのジャック・デリダの「脱構築」や、ミシェル・フーコーの「知の考古学」といった思想＝「ポスト・モダン」の再評価とも無意識に共鳴した1980年代～90年代に生まれた歴史的発明なのである。  
90年代クラブカルチャーはヒップホップの洗礼を浴びた世代による「娯楽装置としてのディスコ」へのカウンターであり、同時に新たな音楽・文化の発信であり、創造である。  
フランス生まれロンドン育ちであるジャイルス・ピーターソンの登場により、それまで一介の娯楽提供者であったディスコDJは「クラブDJ」そして「レコード・レーベル」という新たな音楽の「表現者」へと変貌。単なる消費財でしかなかった大衆音楽は文化的財産の宝庫となったのである。  
それが英国発「Acid Jazz」であり「Talkin' Loud」である。

日本においてもほぼ同時期に新たな鳴動が起こる。

1992年に大きな驚きと衝撃を持って登場した橋本徹のインディー書籍「Suburbia Suite」は1994年にはCDコンパイル・シリーズ「Free Soul」としてさらに躍動する。

橋本徹が雑誌「BRUTUS」編集者であったことは広く知られる。

これは「Light Mellow」シリーズの金澤寿和がミニコミ誌の編集・発行を契機に音楽執筆者として活動を始めたことと無関係ではない。

編集者は過去からの連続性の中で「知」の再発見を繰り返しながら新たな「知」を編み出す「創造者」なのである。DJやコンパイラーが音楽による表現者であることと編集者が文字による表現者であることは同義である。

90年代に登場したクラブカルチャー、ポスト・モダン、といった「再評価」や「再発見」つまり「脱構築」視点による音楽・カルチャーの熱い潮流に大きな影響を受けた世代が日本にも多くいる。それはジャイルス・ピーターソン・チルドレンであり、また橋本徹フォロワーとして脈々と継承され続けている。「JAZZ最前線」は90's世代独自の視点による彼ら自身と現在進行形の新世代に向けたヒップホップ～クラブカルチャーの21世紀的「再評価」「再構築」編纂シリーズである。そして同時に、1990年代における「再評価ムーヴメント」に深いリスペクトを込めた新たな「再発見」シリーズなのである。

from [JAZZ FRONT LINE] with Love

